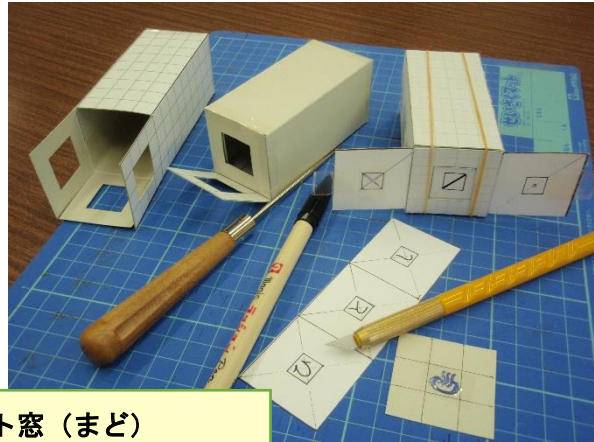
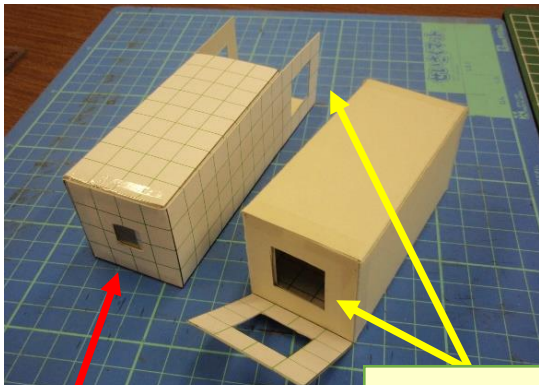


虹の箱 (にじのはこ)

熊本博物館 山口



のぞき窓 (まど)
(※回折格子がはってある)

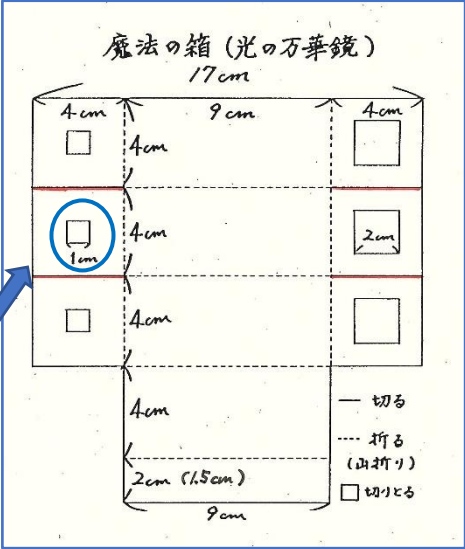
スリット窓 (まど)
(作ったスリットをはさむ部分)

① 工作用紙 (こうさくようし) に箱の展開図 (てんかいず) をえがく。
【右側の図のサイズをもとに】
※点線 (...) のところも実線 (-) を引いてOKです!!

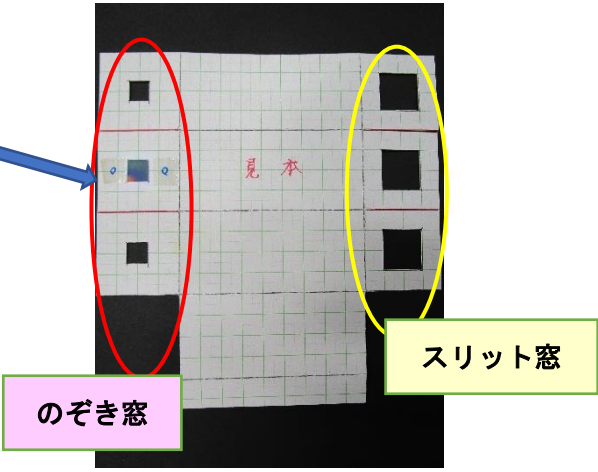
② 展開図の点線 (...) 部分は折り、
赤い線 (-) の部分は切る。

③ 青い丸でかこんだ切りぬき部分の上に虹を作るシート (回折格子: かいせつこうし) をのせ、両はしをセロハンテープでとめる。
※回折格子の説明は、博物館での科学教室のときにおこないます。
※自分でも調べてみましょう!!

④ 切り取った展開図を箱の形に組み立てる (ボンドやセロハンテープを使って)。



【箱の展開図 (てんかいず)】

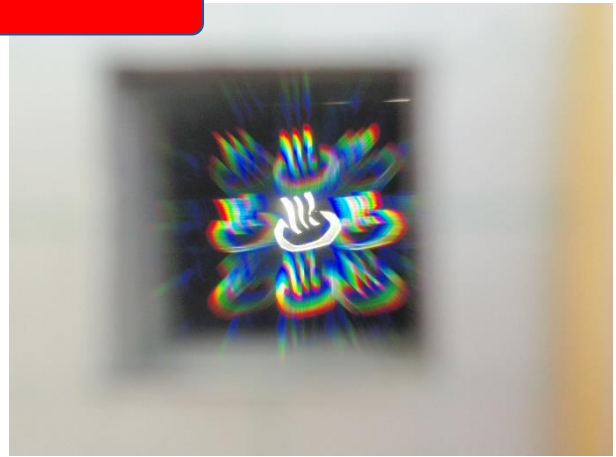


のぞき窓

スリット窓

【実物 (じつぶつ) 写真】

完成！

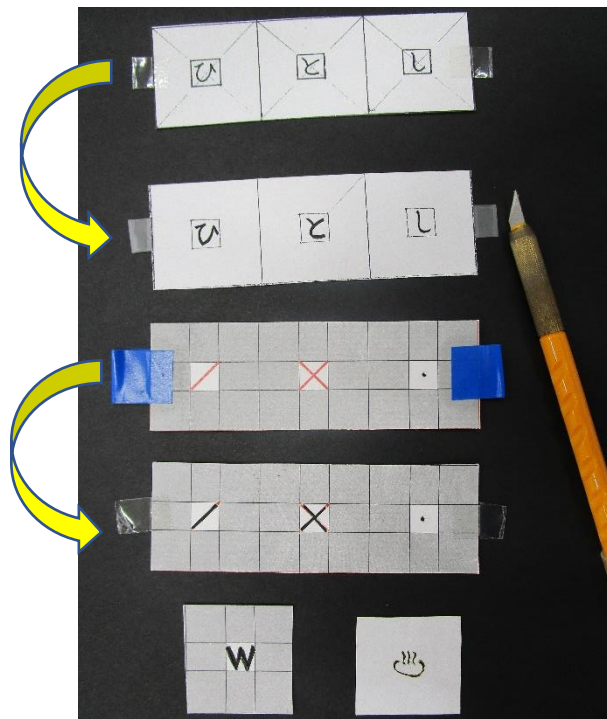


【スリットを作ろう】

3連式スリットの例
「名前」や「しるし」

※1辺が1cmほどの枠（わく）の中に、かんたんな文字や印（しるし）をペンでかきこみます。

※カッター（デザインナイフ）を使って ペンの幅（はば・あつさ） だけを安全に気をつけていないに切りぬきます。



スリットの例
温泉マークなど



※別のファイルで「ここでの一工夫（ひとくふう）」を紹介しています。そちらも、ぜひ読んでみてください！！